

令和5年度第2回恵那市市史編さん委員会 会議録

日時：令和6年2月20日（火） 午後13時30分～
場所：恵那市役所 災害対策室 AB

-
- 1 開会
 - 2 教育長あいさつ
 - 3 委員長あいさつ
 - 4 議事
 - (1) 令和5年度の事業報告
 - (2) 令和6年度の事業計画
 - (3) 本文原稿の承認
 - 5 閉会
-

1 開会

■事務局 皆様お集まりいただいたので始めさせていただきます。わたくし、教育委員会生涯学習課の柄澤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。ただいまから、令和5年度第2回恵那市市史編さん委員会を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。市史の原稿の方は予め皆様にお配りしておりますが、本日の議題としましては、令和5年度編さん事業の今までの進捗状況等を報告させていただき、6年度の事業計画の説明をさせていただきたいと思っております。その後にお配りしております原稿について、ご意見等いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。会議の方は、概ね1時間程度を予定しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは次第に沿って、教育委員会教育長岡田庄二よりご挨拶申し上げます。

2 教育長あいさつ

■教育長 皆様こんにちは。第2回の市史編さん委員会にお集まりいただきありがとうございます。令和4年の10月に第1回の編さん委員会がありました。約2年間で作り上げるということで、当初は、できるかな、という心配もありながら、今日を迎えたわけですが、執筆者の方を中心に、様々な方に原稿をご確認いただいたり、資料をいただいたりして、今日を迎えることができています。その中で、内容の確認をしていただいて、最後の詰めを迎えていけたらと思います。いろいろな方からご意見をいただいて、良いものにしていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

■事務局 ありがとうございます。続きまして、次第3の、委員長挨拶ですが、委員長である丸山様からご挨拶いただきたいと思います。その後引き続き議題の進行の方に移っていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

3 委員長あいさつ

■委員長 皆様こんにちは。昨年6月にお会いしてから、かなり月日が経ちました。こうして元気で皆さ

んと再会できまして、嬉しい限りでございます。平成の合併編は、先ほど教育長がおっしゃったように、原稿整備をだいたい終えて、いよいよ印刷屋に入稿するときにやってきました。原稿は、5人の方に書いていただきました。良い執筆者に対応していただきました。そして、専門委員会を5回行いました。事務局からのたくさんの要望を受け止めていただき、原稿整備を行っていただきました。例えば、合併が目指したものをどう具現化したのか、住みよいまちづくりにいかに取り組んでいったのか、企業誘致等をどう行ったのか、人口減少、少子高齢化の対策はできていたのか、等です。皆さんには、6月の編さん委員会で、写真や図表を入れて、ビジュアルで分かりやすいものにしていただきたいというご意見をいただきました。一生懸命それに努めていただきました。まだ写真が小さいとか、図表が読みにくいこともありますが、それは印刷屋が作業し、読みやすいものになっていきます。それから、13の地域自治区の活動状況を平等に示して欲しいというご意見もありましたので、2ページずつ示すことにしました。最終段階と言っても、これから皆さんの意見を取り込んで、修正して、入稿したあと、校正段階で直しはできるわけですので、良い内容のものにしていきたいと思います。それでは、今日どうか、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。

■事務局 ありがとうございます。委員長さんに議事進行の方を進めていただきたいと思います。お願いいたします。

4 議事

(1) 令和5年度の事業報告

■委員長 お手元の資料の最初のところです。今日の議題は3つありまして、順次確認していきたいと思います。(1)令和5年の事業報告から、事務局にお願いしたいと思います。

■事務局 (資料に沿って説明)

(資料1 上段) 令和5年度の事業報告及び予定の説明

(資料2) 口絵掲載案 選定項目の説明

(資料3) 資料編掲載案 選定項目の説明

(資料4-1, 4-2) 年表の案 選定項目、体裁の説明

■委員長 ありがとうございます。質問、意見等がありますか。事務局の方で、検討事項はありますか。

■事務局 検討事項といえますか、お諮りしたいと思います。年表を入れる位置ですけれども、口絵の次に入れると全体的な流れがわかるのではないかという考えがあります。一方で、最後に資料編を付けますが、その資料編の最後に付けた方が良いのではないかという、二つの意見がございます。年表を付ける位置をについて編さん委員さんのご意見を伺いたいです。

■委員長 いかがでしょうか。

■委員 一般的にはどちらが多いのですか。

■事務局 一般的には、資料編の最後に付けるものが多いです。

■委員長 最後に付けるものが普通ですけれども、分かりやすいということで、前に付けるという意見が多ければそのようにしたいと思います。最後に付けるということでよろしいでしょうか。

■委員 はい。

■事務局 それでは、終わりの方に付けさせていただきますと思います。

■委員長 事業報告について質問はないようですので、次の議題に移りたいと思います。(2)令和6年度

の事業計画について、説明をお願いいたします。

(2) 令和6年度の事業計画

■事務局 (資料に沿って説明)

(資料1下段) 令和6年度の事業計画、予算の説明

■委員長 ありがとうございます。ただいまの説明に対し、なにか質問、意見等はないでしょうか。

■委員 令和6年度の事業計画について説明を受けました。事業計画については、云々言うことはありませんが、5月中旬のところに「6年度計画の承認」とありますが、6年度計画の承認は、今日で良いと思っております。これ以上細かい内容が計画で出てれば、また別ですが、これが計画だったら、今日承認で良いと思います。もう一点、予算ですが、謝礼の内訳を教えてくださいたいと思います。

■委員長 今のご質問で、令和6年度の計画の承認は今日というお話が出ましたが、異議はないですか。

■委員 異議はありません。

■委員長 ありがとうございます。

■事務局 謝礼の内訳です。まず、皆様、編さん委員さんの謝礼や交通費で8万円、執筆者の方への謝礼が1ページ当たり6千円ということで210万円、監修者の先生に対して17万円、という内訳です。

■委員長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

■委員 今日、原稿内容の承認ということになっておりました。中旬に、初校原稿の承認とありますが、どう違うのですか。

■事務局 今日、皆様に見ていただいているものから、構成を改めたり体裁を直したりということがありますので、全体的な形が改めてできてくるのが5月となっております。今の段階で訂正もいただいておりますので、そういったものを反映したものをもう一度見ていただきたいです。

■委員長 資料編や、年表や口絵、さらに直したものが初校になってまいりますので、初校を見ていただいて承認いただきたい、ということですね。

■事務局 入れるべき写真等が入った段階で見ていただきたいということでございます。

■委員長 それでは、ほかにご意見が無いようですので、(2)の令和6年度の事業計画は、承認ということよろしいでしょうか。

■委員 異議なし。

(3) 本文原稿の承認

■委員長 それでは、(3)本文原稿の承認について、事務局から説明をお願いします。

■事務局 (資料に沿って説明)

(資料5) 全体構想 協議趣旨の説明

■委員長 ありがとうございます。項目ごとに本文内容について質問、意見等を伺います。まずは、「第1部 合併の概要」から「第2部第1章 新市の誕生」まで、ご意見などありますか。細かな誤字脱字については、事務局の方で修正しますので、大筋についていかがでしょうか。

■委員 7ページに「別表1」というものがありますが、何の表なのか分からなかったです。この説明が必要だと思いますが、例えば、上に1から15の番号が振ってありますが、何の番号なのか読み取れなかったですし、どういうことが言いたいのか分かりませんでした。

■**委員長** 合併後、何年目、ということですね。1 から 15 は、年度数ですね。年度によって、人件費がどう変わっていったとか、そういうことです。

■**委員** そういうことですか。

■**事務局** まだ合併する前の資料ですので、数字は、合併して何年後、という意味になります。14 ページ、小見出しで「第三章」としているところで、合併パターンを考える根拠として、表が示されているということでございます。

■**委員** 表の中で1 から 15 の数字については、どこも説明してないので、合併後の経過年数だと、どこかに表記していただきたい。

■**事務局** わかりました。著者の方にもお伝えしまして、直すようにいたします。

■**委員** それから、てにをはは、ちょっと、無しにしますけど。

■**委員長** どうぞ。

■**委員** てにをはの話になってしまうかもしれませんが、これは、合併当時の時点での話ですか。それとも、この本が出たときの時点での話ですか。例えば、旧山岡町について、7 ページを見ていただきたいのですが、下段の5 行目で、「ヘルシーハウス山岡（現山岡かんでんかん）」と書いてありますね。終わりから4 行目には、「松本団升氏は、岐阜県重要無形文化財に認定されている」とあります。この方はお亡くなりになっているので、「認定された」の断定のはずです。ですから、どの時点でのことを言うのか、その辺の仕切りというか、平仄が合っていない。このようなことが、この中に往々にしてあると思います。

■**委員長** 松本団升さんは、合併前に認定されていたということですね。かんでんかんは、合併前にはできていなかったということですね。

■**委員** これについては、他のページでも該当する部分があるやもしれませんので、平仄を合わせていただきたい。

■**委員長** 読んでいて違和感があれば、直さなければいけませんね。

■**委員** それを言い出すと、文章がこなれていないのがいっぱいあるし、歴史的事実の誤認というのもありますので、例えば、旧町史に書いてあるから合っているかと言ったら、必ずしもそうではない部分もありますので、その辺の検討もしていかなければいけないと思います。

■**委員長** そういう点がありましたら、後ほど事務局の方へお知らせいただいて、対応したいと思いません。ほかにいかがでしょうか。

■**委員** よろしいでしょうか。52 ページ、可知市長の選挙に関するところで、「瀨瀨満氏と…」と書いてありますが、名前を出す必要はありますか。名前を出す必要は無いと私は思う。一騎打ちになったと、そういうのは良いですが、他のところだとかこういう名前は出てないですね。

■**事務局** この前、副委員長様からも同じようなご意見が出ております。これは、他の市史も見ると、実名を公表されている周知のこととして、市史に載っている場合もあります。

■**委員** 分かりますが、名前はここしか載っていないような気がします。私が読んだ限りでは、他の項目では載っていない。ここだけ載せるのはどうかと思うので、検討いただきたい。

■**委員** 議会事務局ですが、この案件については、駒宮氏のお名前も出てまいりますけれども、このあたりについては、私の方でも事務局に、一般的な形として、こういうものを表記するときはどういう方法があるかというお話と、ウェブ等でも情報が出ている話だということと、覚悟をもって選挙に立たれたと

ということで、一生懸命戦ったんだという思いがあるやもしれないという中で、議会事務局の方から申し入れをさせていただいております。よろしくお願ひしたいと思ひます。ご本人様としては、なんで自分の名前が出ていないんだと、逆のことになる場合もあるやもしれません。

■委員長 類似するところがあるのではないですか。例えば、同じページ後半部分の、可知市長の勇退後。それをどうするかということもありますね。検討が必要ですね。ほかにいかがですか。

■委員長 それでは、「第2部第2章 政治・行政」で、ご意見はいかがでしょう。

■委員 私ばかりで申し訳ないですが、70 ページの下段に「小坂市政スタート」というところがあります。それから、72 ページの下段にも、同じ文章が書かれているので、違う表現が使われたほうが良いんじゃないかなという気がします。全く同じことをコピーして書かれているような感じがしますので。70 ページは、これはこれで良いと思ひます。「一二月五日、就任後の初議会」と。72 ページにも、「一二月五日、就任後の初議会」と、またここで同じ言葉が使っている。

■委員長 中身は違うわけですね。

■委員 はい。中身はいいです。この表現を、「第二次の初議会」とか「二期目の」とか、そういう表現にされると良いんじゃないのかなと思ひます。ぱっと見たときに一緒になってしまっている。

■委員長 わかりました。読み手側として、あれ、と思う表現があったということですね。それでは次にいきたいと思ひます。

■委員 すみません。126 ページで、先ほど振興事務所を通じてゲラがきたので、気になることを書いて出したんですけども、それについては今後直して下さるとのことですかね。

■事務局 そうです。

■委員 構成というより誤字脱字という感じですけども、私が書いて出したのは、串原の地域づくりのトピックスが並べて挙げてあるんですが、どういう順序で並べてあるかという整合性が分からないんですね。例えば、住民会議は平成 17 年で、串原地域自治区運営協議会は平成 31 年で、移住定住促進事業は平成 21 年より、地域観光資源は年代はありません。伝統文化も年代はありません。公共施設は平成 18 年、くしはら温泉ささゆりの湯は平成 14 年、くしばすは平成 22 年となっています。時系列なら時系列という、整合性の下に書いていかないと、つぎはぎというか、寄せ集めのようになってしまいます。明智でもそうですけれども、基本的に、市史であるならば、歴史的な年代に応じて挙げていくべきではないかと思ひます。これはどういう根拠で並べてあるんですか。

■事務局 これは、端的に言いますと、市史を編さんするにあたりまして、各地域に、それぞれの地域の重要な項目を挙げてくれと、簡単に言えば重大ニュースとか、そういった質問を投げかけまして、その順番に載っております。ですので、こちらとしては、地域で重要な順番に上がってきたものを書いているという、そういう理解です。

■委員 振興事務所が挙げたんでしょう。

■事務局 そうです。

■委員 私たちは全然知らないですよ。

■事務局 令和 4 年の 11 月に地域から出していただきました。

■委員 客観的に書くとしたら、重要度なんてことは、人によって価値観が全然違うんですよ。例えば、串原地域自治区住民会議が一番大事と、それって客観的に言えるんですかね。時系列に沿って挙げていくなら、こういう流れの中で、串原地域の地域づくりが進んだと言えると思うんですけど、あっちいっ

たりこっちいたり、本当に寄せ集めというか、2ページを埋めるために書いているようで。地域づくりの歴史ということで書くなら、合併の20年間でどんなことが起きてきたかという、年表のような形で書いていくべきだと思うんですが。そういうことを書いて出したんですけど、直ってないですね。そういうことは今後やらないんですか。今日の会議で決定ということですか。

■委員 私ももっともかなと思います。昨年振興事務所で出したというのでも、その時点でのトピックとして目立つものを書いてきたという感じなので、岩村で例えれば朝ドラのロケ地になったことなども、5年後10年後には古い話になってしまう。そういった意味では、ある程度時系列的に書いた方が良くて、その中でトピック的に見出しを付けた方が分かりやすい気がします。

■事務局 それでは、今、おっしゃられた通り、委員の皆様の中で、時系列的に示した方が良いというご意見が多数ということであれば、それに沿って体裁を変えることを考えていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

■委員 それは地域ごとのことなので、全会長と擦り合わせをしてもらった方が良いんじゃないですか。

■事務局 では、会長さんを通して確認を取らせていただいた上で、ということではよろしいでしょうか。

■委員 よろしいですか。細かいことなんですけれども、自分の地域のことで訂正をしたい箇所があるんですが、それはここで順番に聞いて行かれるのか、後から言えばいいのか。そう大したことではないんですけれども。

■事務局 後から言っていたとしても、大丈夫です。

■委員長 では、配列の仕方ですね。地域振興事務所が出してきたもので、それなりに意味があったと思いますが、現時点で見直すとどうだろうか、ということですね。事務局は、それぞれ振興事務所に、こういう意見があったということは伝えますか。

■事務局 はい。

■委員 地域のことは個別に事務局へ話をさせていただくという中で、103ページになりますけれども、上段の左側、地域学校協働活動という項目の、後ろから2行目です。「各地域自治区内の組織に地域学校協働本部を設置し」と書いてありますが、これは事実ではないです。前の会議でも申し上げましたが、一部、中野方町については、地域協議会の中にこの機能を盛り込みました。だから、「地域学校協働本部等」と、「等」を入れてくれと何度も言いましたが、「等」が抜けています。そのへんのところはよろしくお願いします。

■委員 直してほしいところを言ってもいいですか。104ページの上段、防犯パトロールから3行前、「令和三年四月に」となっていますが、これは平成31年4月ですので、修正をお願いしたいと思います。それから、105ページ下段、『「しぶろく大井宿」発足』というタイトルですが、これは、もう3行前をお願いしたいと思います。「大井地域自治区…」とあるところから、しぶろく大井宿の話が始まっているので、そこへタイトルを持って行っていただきたい。

■事務局 申し訳ないです。こちらの誤植ですね。失礼いたしました。

■委員長 地域自治区については、ご意見を事務局にお伝えいただいて、ということではよろしいでしょうか。

次に、「第3章 産業・経済」について、いかがでしょうか。ここは、図表が小さく見にくいので、印刷屋と協議して、鮮明にしたいと思っています。

特に意見が無ければ、次の「第4章 教育・文化・スポーツ」について、いかがでしょうか。

■**委員長** 意見がないようですので、細かなことは、また、事務局にお届けいただきたいと思います。皆様のご意見を受け止めまして、原稿を修正しなければなりません。入稿に関しては一任いただきたいと思います。この原稿を承認いただけるでしょうか。

■**委員** はい。

5 閉会

■**事務局** ありがとうございます。以上ですべての議事が終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

■**事務局** 丸山委員長、委員の皆様、ご指摘いただきありがとうございます。今お話がありましたように、ご指摘を受け止めて、修正をしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。自治会長様への連絡等、振興事務所、振興室を通してお話をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。それでは閉会になりますので、副委員長の和仁様にごあいさついただきたいと思います。

■**副委員長** かなり修正することが多いかと思ひます。令和6年度の事業計画の中に、5月の中旬に初校原稿の承認というのがあります。そこまでに、気づいたところがあれば、直接生涯学習課の方へ、電話でもかまいませんので、連絡していただくようお願ひします。今日のところでは全部出尽くしていないと思ひます。

■**事務局** すみません、印刷業者に渡すのが3月末となりますので、そのときまでに大きな修正は済ませたいと思ひます。5月までではなくて、3月末までにお願ひしたいと思ひます。

■**副委員長** 5月に内容承認となっているでしょう。

■**事務局** これは、印刷業者から出てきて、ここではダミーが貼ってあります写真や図表が、実際お出しするものに形が整ってまいりますので、それを含めて全体をご承認いただくということです。

■**副委員長** 初校原稿で出てくると修正はきかないんですか。

■**事務局** ある程度はききますが、例えば、ページ数を増やすような変更は難しいです。

■**副委員長** では、3月下旬に、本文原稿を印刷業者に入稿する前に、修正箇所は連絡すると。

■**事務局** はい。お願ひいたします。

■**副委員長** ということで、この場で全ての修正箇所を聞いてもらうというのはかなり時間がかかってしまうので、3月下旬に、本文原稿を印刷業者に入稿する前に、直接連絡していただきたいと思ひます。できあがったものは、ずっと残っていくので、素晴らしいものにしたいと思ひます。先ほどの議会の関係ですとか、どうされるかは一任ということになります。6年度、4月からも計画に沿って進めていきたいと思ひます。本日は、第2回編さん委員会ということで、本文原稿を承認していただきました。この後は、個別に連絡させていただきます。皆様、お疲れさまでした。

～閉会～